

## 「介護職員初任者研修事業」に関する情報の公表について

## 1. 研修機関情報

## ①法人情報

法人格・名称	学校法人 大乘淑徳学園
住所	〒174-8645 東京都板橋区前野町5-5-2
電話番号	03-5392-8888(代)
代表者名	理事長 長谷川 匡俊
研修事業担当理事	理 事 前原 英明
教育事業の概要	<a href="http://www.jc.shukutoku.ac.jp/index.php">http://www.jc.shukutoku.ac.jp/index.php</a>
法人財務情報	<a href="http://www.hq.shukutoku.ac.jp/zaimu.htm">http://www.hq.shukutoku.ac.jp/zaimu.htm</a>

## ②研修機関情報

事業所名称	淑徳大学短期大学部
事業所住所	〒174-8631 東京都板橋区前野町6-36-4
連絡先	TEL.03-3966-7631(代) FAX.03-3558-7990
代表者氏名	学長 前原 英明
理念	<a href="http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/">http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/</a>
学則	<a href="http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html">http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html</a>
研修施設・設備	<a href="http://www.jc.shukutoku.ac.jp/campus/guide.php">http://www.jc.shukutoku.ac.jp/campus/guide.php</a>
沿革	<a href="http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/president.php">http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/president.php</a>

## 2. 研修事業情報

## ①研修の概要

対象	健康福祉学科 在学生（ただし1年生を優先）
研修スケジュール	②研修スケジュール参照
定員	24名
指導者数	13名（専任1名、兼任12名）
研修受講手続き	1.淑徳大学短期大学部健康福祉学科の学生のうち、介護職員初任者研修（通学）を希望する者は、本学所定の用紙に必要事項を記載のうえ、所定の期日までに申し込んでください。 2.受講者の決定は、別途通知致します。
費用	受講料：無料 テキスト代：6,069円（税込）
特徴・メッセージ等	介護職員初任者研修では、在宅・施設における高齢者に対する、食事の支度・部屋の掃除・排泄や入浴介助など生活全般のサービスを提供するために必要な知識や技術を修得します。 本学では、東京都知事の指定を受けた介護職員初任者研修について学内講座を開講しています。この研修に必要な講座の全課程を修了（「実技試験」・「修了評価」含む）し、単位を修得することにより、卒業時に介護職員初任者研修の修了証明書を取得することができます。高齢者施設等へ就職する際、この課程の修了者であることが採用条件となることがあります。

②研修スケジュール（期間・日程・時間数）

研修期間：平成31年4月8日～令和3年3月19日

区分	研修日	研修時間	数時間	科目	
				(項目・科目番号、科目名)	(読替科目)
-	H31年04月08日(月)	14:30～14:45	0.25	開講式	
講義・演習	H31年04月08日(月)	14:45～16:15	3	1 (1) 多様なサービスの理解	介護の理解 I
	H31年04月10日(水)	14:45～16:15			
講義	H31年04月15日(月)	14:45～16:15	3	1 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	介護の理解 I
	H31年04月17日(水)	14:45～16:15			
講義・演習	R1年05月14日(火)	09:00～10:30	4.5	2 (1) 人権と尊厳を支える介護	介護福祉論
	R1年05月21日(火)	09:00～10:30			
	R1年05月28日(火)	09:00～10:30			
講義	R1年06月04日(火)	09:00～10:30	4.5	2 (2) 自立に向けた介護	介護福祉論
	R1年06月11日(火)	09:00～10:30			
	R1年06月18日(火)	09:00～10:30			
講義	R1年06月25日(火)	09:00～10:30	2.5	3 (1) 介護職の役割、専門性と他職種との連携	介護福祉論
	R1年07月02日(火)	09:00～10:30			
講義・演習	R1年07月02日(火)	10:00～10:30	0.5	3 (2) 介護職の職業倫理	介護福祉論
講義	R1年07月09日(火)	09:00～10:30	1.5	3 (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護福祉論
講義・演習	R1年07月16日(火)	09:00～10:30	1.5	3 (4) 介護職の安全	介護福祉論
講義	R1年10月21日(月)	10:45～12:15	4.5	4 (1) 介護保険制度	高齢者福祉サービス論
	R1年10月28日(月)	10:45～11:45			
	R1年11月04日(月)	10:45～11:15			
	R1年11月11日(月)	10:45～11:15			
	R1年12月09日(月)	10:45～11:45			
講義	R1年09月23日(月)	16:30～17:00	1.5	4 (2) 障害者総合支援制度及びその他制度	障害者福祉サービス論
	R1年10月21日(月)	16:30～17:00			
	R1年10月28日(月)	16:30～17:00			
講義・演習	R1年07月08日(月)	14:45～16:15	3	4 (3) 医療との連携とリハビリテーション	介護の理解 I
	R1年07月15日(月)	14:45～16:15			
講義	R1年04月22日(月)	14:45～16:15	3	5 (1) 介護におけるコミュニケーション	介護の理解 II
	R1年04月24日(水)	14:45～16:15			
講義・演習	R1年05月06日(月)	14:45～16:15	3	5 (2) 介護におけるチームのコミュニケーション	介護の理解 II
	R1年05月08日(水)	14:45～16:15			
講義	R1年05月13日(月)	14:45～16:15	3	6 (1) 老化に伴うことからの変化と日常	介護の理解 I
	R1年05月20日(月)	14:45～16:15			
講義・演習	R1年06月10日(月)	14:45～16:15	3	6 (2) 高齢者と健康	介護の理解 I
	R1年06月17日(月)	14:45～16:15			
講義	R1年05月27日(月)	14:45～16:15	1.5	7 (1) 認知症を取り巻く状況	介護の理解 I
講義	R1年06月24日(月)	14:45～16:15	1.5	7 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	介護の理解 I
講義・演習	R1年06月03日(月)	14:45～16:15	1.5	7 (3) 認知症に伴うことからの変化と日常生活	介護の理解 I
講義・演習	R1年07月01日(月)	14:45～16:15	1.5	7 (4) 家族への支援	介護の理解 I
講義	R1年07月22日(月)	14:45～15:45	1	8 (1) 障害の基礎的理解	介護の理解 I
講義	R1年07月22日(月)	15:45～16:15	1	8 (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎知識	介護の理解 I
	R1年07月24日(水)	14:45～15:15			
講義・演習	R1年07月24日(水)	15:15～16:15	1	8 (3) 家族の心理、かかり支援の理解	介護の理解 I
講義	R1年05月15日(水)	14:45～16:15	3	9 (1) 介護の基本的な考え方	介護の理解 II
	R1年05月22日(水)	14:45～16:15			
	R1年05月29日(水)	14:45～16:15			
講義	R1年06月05日(水)	14:45～16:15	4.5	9 (2) 介護に関するところのしくみの基本的理解	介護の理解 II
	R1年06月12日(水)	14:45～16:15			
	R1年06月19日(水)	14:45～16:15			
講義・演習	R1年06月26日(水)	14:45～16:15	4.5	9 (3) 介護に関するところのしくみの基本的理解	介護の理解 II
	R1年07月03日(水)	14:45～16:15			
	R1年07月10日(水)	14:45～16:15			
講義・演習	R2年01月28日(火)	09:00～10:30	4.5	9 (4) 生活と家事	生活支援技術 II
	R2年01月28日(火)	10:45～12:15			
	R2年01月28日(火)	13:00～14:30			
	R1年10月11日(金)	14:45～15:45			
	R1年11月15日(金)	14:45～15:15			
講義・演習	R1年11月29日(金)	14:45～15:15	4.5	9 (5) 快適な住環境整備と介護	福祉環境論
	R1年12月06日(金)	14:45～15:45			
	R1年12月13日(金)	14:45～15:15			
	R1年12月20日(金)	14:45～15:45			
	R1年09月13日(金)	10:45～12:15			
講義・演習	R1年09月13日(金)	13:00～14:30	6	9 (6) 整容に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	生活支援技術 I
	R1年09月20日(金)	10:45～12:15			
	R1年09月20日(金)	13:00～14:30			
	R1年09月27日(金)	10:45～12:15			
講義・演習	R1年09月27日(金)	13:00～14:30	6	9 (7) 移動・移乗に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	生活支援技術 I
	R1年10月04日(金)	10:45～12:15			
	R1年10月04日(金)	13:00～14:30			
	R1年10月11日(金)	10:45～12:15			
講義・演習	R1年10月11日(金)	13:00～14:30	6	9 (8) 食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	生活支援技術 I
	R1年10月18日(金)	10:45～12:15			
	R1年10月18日(金)	13:00～14:30			
講義・演習	R1年10月25日(金)	10:45～12:15	6	9 (9) 入浴、清潔保持に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	生活支援技術 I
	R1年10月25日(金)	13:00～14:30			
	R1年11月01日(金)	10:45～12:15			
	R1年11月01日(金)	13:00～14:30			
講義・演習	R1年11月08日(金)	10:45～12:15	6	9 (10) 排泄に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	生活支援技術 I
	R1年11月08日(金)	13:00～14:30			
	R1年11月15日(金)	10:45～12:15			
講義・演習	R1年11月15日(金)	13:00～14:30	6	9 (11) 睡眠に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	生活支援技術 I
	R1年11月29日(金)	10:45～12:15			
	R1年11月29日(金)	13:00～14:30			
	R1年12月06日(金)	10:45～12:15			
講義	R1年12月06日(金)	13:00～14:30	6	9 (12) 死にゆく人に関したところからのしくみと終末期介護	生活支援技術 I
	R1年12月13日(金)	10:45～12:15			
	R1年12月20日(金)	10:45～12:15			
	R1年12月20日(金)	13:00～14:30			
講義・演習	R2年01月30日(木)	09:00～10:30	6	9 (13) 介護過程の基礎的理解	生活支援技術 II
	R2年01月30日(木)	10:45～12:15			
	R2年01月30日(木)	13:00～14:30			
	R2年01月30日(木)	14:45～16:15			
講義・演習	R2年02月18日(火)	09:00～10:30	6	9 (14) 総合生活支援技術演習	生活支援技術 II
	R2年02月18日(火)	10:45～12:15			
	R2年02月18日(火)	13:00～14:30			
	R2年02月18日(火)	14:45～16:15			
講義	R2年02月19日(水)	09:00～10:30	3	10 (1) 振り返り	生活支援技術 II
	R2年02月19日(水)	10:45～12:15			
講義・演習	R2年02月19日(水)	13:00～14:00	1	10 (2) 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	生活支援技術 II
-	R3年03月13日(金)	13:00～15:00	2	筆記試験	
-	R3年03月19日(金)	12:30～13:00	0.5	修了式(卒業式:学位記授与)	

### ③課程責任者

氏名	塩野 敬祐（淑徳大学短期大学部健康福祉学専任教員）
----	---------------------------

### ④研修カリキュラム

科目別シラバス・特徴	「⑤科目別シラバス・特徴」参照
科目別担当教員名	「3.講師情報」参照
修了評価の方法	
修了評価の方法	<p>1. 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。</p> <p>2. 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習状況の評価については、併せて実技試験も行う。</p> <p>3. 認定基準は、次のとおり、理解度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価した上で、C 以上の評価の受講者を評価基準を満たしたものと認定する。評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講を行い、基準に達するまで再評価を行う。</p> <p>【認定基準（100点を満点とする）】 A=90点以上、B=80~89点、C=70~79点、D=70点未満</p>
評価者	塩野 敬祐（課程編成責任者）

⑤科目別シラバス（特徴含む）

<p>介護の理解Ⅰ （2単位）</p>	<p>杉田美佐子・井上友則・井上弥生・本名宏企・深澤秀一</p>
<p>対象学年：1年</p>	
<p><b>授業のテーマ・目的・到達目標</b></p> <p>[ 授業のテーマ・目的等 ]          本科目は、「介護職員初任者研修」資格の取得に必修な130時間のカリキュラムのうち、12科目合計24時間分を1つの科目としてまとめたものである。</p> <p>[ 授業終了時の到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。</li> <li>2. 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気付き、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。</li> <li>3. 介護において認知症を理解することの必要性に気付き、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。</li> <li>4. 障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。</li> <li>5. 医療との連携とリハビリテーションの理念について理解している。</li> </ol> <p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>01週. 職務の理解 (1)</li> <li>02週. 職務の理解 (2)</li> <li>03週. 職務の理解 (3)</li> <li>04週. 職務の理解 (4)</li> <li>05週. 老化の理解 (1)</li> <li>06週. 老化の理解 (2)</li> <li>07週. 老化の理解 (3)</li> <li>08週. 老化の理解 (4)</li> <li>09週. 認知症の理解 (1)</li> <li>10週. 認知症の理解 (2)</li> <li>11週. 認知症の理解 (3)</li> <li>12週. 認知症の理解 (4)</li> <li>13週. 障害の理解 (1)</li> <li>14週. 障害の理解 (2)</li> <li>15週. 介護・福祉サービスの理解と医療の連携①</li> <li>16週. 介護・福祉サービスの理解と医療の連携②</li> </ol>	<p><b>履修上の留意事項・準備学習</b></p> <p>本資格を取得する学生は、全時間を出席し履修しなければならない。また、土曜日や補講期間にも数回授業を行うことがある。</p> <p><b>教科書</b></p> <p>「介護職員初任者研修テキスト」（出版：財団法人介護労働安全センター 6,069円）他</p> <p><b>参考図書</b></p> <p>必要に応じて紹介する。</p> <p><b>成績評価の方法</b></p> <p>評価は、平常点20%、試験80%の割合で行う。</p>

介護の理解Ⅱ (2単位)	杉田美佐子・深澤秀一・磯部ひかり
対象学年：1年	
<p><b>授業のテーマ・目的・到達目標</b></p> <p>[ 授業のテーマ・目的等 ]          本科目は、「介護職員初任者研修」資格の取得に必修な130時間のカリキュラムのうち、「介護におけるコミュニケーション技術」及び「こころとからだのしくみと生活支援技術」領域における5科目合計18時間を1つの科目としてまとめたものである。</p> <p>[ 授業修了時の到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを理解してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき行動例を理解している。</li> <li>2. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</li> <li>3. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</li> </ol>	<p><b>履修上の留意事項・準備学習</b></p> <p>本資格を取得する学生は、全時間を出席し履修しなければならない。また、土曜日や補講期間にも数回授業を行うことがある。</p> <p><b>教科書</b></p> <p>「介護職員初任者研修テキスト」(出版：財団法人介護労働安全センター 6,069円) 他</p> <p><b>参考図書</b></p> <p>必要に応じて紹介する。</p>
<p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>01 週.オリエンテーション</li> <li>02 週.介護におけるコミュニケーション技術 (1)</li> <li>03 週.介護におけるコミュニケーション技術 (2)</li> <li>04 週.介護におけるコミュニケーション技術 (3)</li> <li>05 週.介護におけるコミュニケーション技術 (4)</li> <li>06 週.介護の基本的な考え方 (1)</li> <li>07 週.介護の基本的な考え方 (2)</li> <li>08 週.介護に関するこころのしくみの基本的理解(1)</li> <li>09 週.介護に関するこころのしくみの基本的理解(2)</li> <li>10 週.介護に関するこころのしくみの基本的理解(3)</li> <li>11 週.介護に関するからだのしくみの基本的理解(1)</li> <li>12 週.介護に関するからだのしくみの基本的理解(2)</li> <li>13 週.介護に関するからだのしくみの基本的理解(3)</li> <li>14 週.グループワーク</li> <li>15 週.グループワーク・授業全体のまとめ</li> </ol>	<p><b>成績評価の方法</b></p> <p>授業・グループワーク等への参加状況・提出物(自己紹介・グループワーク評価用紙等)が50%、筆記試験が50%の割合で評価する</p>

生活支援技術 I (2単位)	杉田美佐子・井上弥生・天賀谷いずみ・鈴木千鶴
対象学年：1年	
<p><b>授業のテーマ・目的・到達目標</b></p> <p>[ 授業のテーマ・目的等 ]          本科目は、「介護職員初任者研修」資格の取得に必修な 130 時間のカリキュラムのうち、「こころとからだのしくみと生活支援技術」領域における 14 科目合計 42 時間を 1 つの科目としてまとめたものである。</p> <p>[ 授業修了時の到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</li> <li>2.尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</li> </ol>	<p><b>履修上の留意事項・準備学習</b></p> <p>本資格を取得する学生は、全時間を出席し履修しなければならない。また、土曜日や補講期間にも数回授業を行うことがある。</p> <p><b>教科書</b></p> <p>「介護職員初任者研修テキスト」(出版：財団法人介護労働安全センター 6,069 円) 他</p> <p><b>参考図書</b></p> <p>必要に応じて紹介する。</p>
<p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>01 週. 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1)</li> <li>02 週. 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (2)</li> <li>03 週. 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1)</li> <li>04 週. 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (2)</li> <li>05 週. 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1)</li> <li>06 週. 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (2)</li> <li>07 週. 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1)</li> <li>08 週. 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (2)</li> <li>09 週. 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1)</li> <li>10 週. 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (2)</li> <li>11 週. 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (1)</li> <li>12 週. 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (2)</li> <li>13 週. 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 (1)</li> <li>14 週. 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 (2)</li> <li>15 週. まとめ</li> </ol>	<p><b>成績評価の方法</b></p> <p>評価は、平常点 20%、基本的知識の理解度 40%、生活支援技術の習得状況 40%の割合で行う。</p> <p><b>実技内容・備品</b></p> <p>&lt;実技内容&gt;          講義の他に介護・入浴実習室において、介護ベッド・車椅子・ポータブルトイレ・浴槽等を用いて実技演習を行い、介護職員として必要な基礎的技術の習得を行う。</p> <p>&lt;使用する教材・備品&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ベッド</li> <li>・車椅子</li> <li>・ポータブルトイレ</li> <li>・浴槽</li> <li>・その他</li> </ul>

生活支援技術Ⅱ (1単位)	田中悠美子・鈴木千鶴
対象学年：1年	
<p><b>授業のテーマ・目的・到達目標</b></p> <p>[ 授業のテーマ・目的等 ]          本科目は、「介護職員初任者研修」資格の取得に必修な130時間のカリキュラムのうち「こころとからだのしくみと生活支援技術」領域における4科目合計16.5時間と研修全体の振り返りとしての合計4時間を1つの科目としてまとめたものである。また、全課程修了後に本研修の「修了評価」(筆記試験)を行う。</p> <p>[ 授業修了時の到達目標 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</li> <li>2.尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</li> <li>3.介護職員初任者研修課程全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。</li> <li>4.本研修課程における「修了評価」において所定の水準を超えること。</li> </ol> <p><b>授業計画</b></p> <p>この授業は、2月～3月に集中授業形式で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と家事(1)</li> <li>・生活と家事(2)</li> <li>・生活と家事(3)</li> <li>・介護過程の基礎的理解(1)</li> <li>・介護過程の基礎的理解(2)</li> <li>・介護過程の基礎的理解(3)</li> <li>・介護過程の基礎的理解(4)</li> <li>・総合生活支援技術演習(1)</li> <li>・総合生活支援技術演習(2)</li> <li>・総合生活支援技術演習(3)</li> <li>・総合生活支援技術演習(4)</li> <li>・振り返り(1)</li> <li>・振り返り(2)</li> <li>・振り返り(3)</li> <li>・修了評価(筆記試験)</li> </ul>	<p><b>履修上の留意事項・準備学習</b></p> <p>本資格を取得する学生は、全時間を出席し履修しなければならない。1回でも欠席した場合は、翌年度にその回の内容の授業を受講しなければならない。なお、本科目は、2～3月に集中授業にて行う。</p> <p><b>教科書</b></p> <p>「介護職員初任者研修テキスト」(出版：財団法人介護労働安全センター 6,069円)他</p> <p><b>参考図書</b></p> <p>必要に応じて紹介する。</p> <p><b>成績評価の方法</b></p> <p>評価は、平常点20%、生活支援技術の習得状況20%、筆記試験60%の割合で行う。</p> <p><b>実技内容・備品</b></p> <p>&lt;実技内容&gt;          この授業では、介護職員として必要な知識の習得と基礎的技術の習得を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と家事においては、講義後に介護実習室等において、掃除・洗濯等の実技演習を行う。</li> <li>・総合生活支援技術演習においては、講義後に介護ベッド・車椅子・ポータブルトイレ・浴槽等を用いて実技演習を行う。</li> </ul> <p>&lt;使用する教材・備品&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ベッド</li> <li>・車椅子</li> <li>・ポータブルトイレ</li> <li>・浴槽</li> <li>・洗濯機</li> <li>・その他</li> </ul>

福祉環境論 (2単位)	吉川 みゆき
対象学年：1年	
<b>授業のテーマ・目的・到達目標</b>	<b>履修上の留意事項・準備学習</b>
<p>高齢者及び障害者の福祉環境整備を住宅を中心とした視点で学ぶことを目的にしています。なお、本科目は、「介護職員初任者研修」資格の取得に必修な130時間のカリキュラムのうち、1科目合計4.5時間分の読替内容を含んでいます。</p>	<p>この授業では、福祉住環境コーディネーター3級の資格取得を考慮して実戦問題演習も行います。また、住宅の理解を深めるために図面のトレース（複写）等も行います。</p> <p>本資格を取得する学生は、全時間を出席し履修しなければならない。また、土曜日や補講期間にも数回授業を行うことがある。</p> <p><b>教科書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト（東京商工会議所編 2,500円）</li> <li>・「介護職員初任者研修テキスト」（出版：財団法人介護労働安全センター 6,069円）他</li> </ul> <p><b>参考図書</b></p> <p>随時紹介</p>
<b>授業計画</b>	<b>成績評価の方法</b>
<p>01週. 福祉環境論の概要  02週. 地震による建築物の被害など  03週. 住宅の構造  04週. 高齢化社会の問題を考える  05週. 住環境の問題点と家庭内事故  06週. 介護保険制度  07週. 障害者自立支援法  08週. ノーマライゼーション、健康な一生をおくるための役立つ老いのとらえ方  09週. 元気な高齢者をめざすための必要な食事の改善  10週. 障害者が生活の不自由を克服するための住宅改修  11週. バリアフリーとユニバーサルデザインを考える  12週. 生活を支える様々な用具（共用品、福祉用具貸与と購入費）  13週. 高齢者が安心して住み続けるための住宅改修  14週. 本学周辺の道路・公園などを散策し、バリアフリーの現状についてグループ討論する  15週. 図面の書き方の説明と演習</p>	<p>定期試験 50%、演習 30%、平常点 20%の割合で総合評価します。</p>

障害者福祉サービス論 (2単位)	川畑 俊一
対象学年：1年	
<p><b>授業のテーマ・目的・到達目標</b></p> <p>障害者の生活実態とこれを取りまく社会情勢や福祉ニーズ及び制度について理解を深めます。法制度では「障害者総合福祉法」を中核として、その他関連諸制度についても学習していきます。</p> <p>なお、本科目は、社会福祉士の必修科目であると同時に「介護職員初任者研修」資格の取得に必修な130時間のカリキュラムのうち、1科目合計1.5時間分の読替内容を含んでいます。</p>	<p><b>履修上の留意事項・準備学習</b></p> <p>ビデオ等による実際の事例をもとに現実の理解を深め、問題点や課題を把握し、自ら考究してほしい。本資格を取得する学生は、全時間を出席し履修しなければならない。</p> <p><b>教科書</b></p> <p>「介護職員初任者研修テキスト」(出版：財団法人介護労働安全センター 6,069円) 他</p> <p><b>参考図書</b></p> <p>その都度提示</p>
<p><b>授業計画</b></p> <p>01週. 障害者の生活実態</p> <p>02週. 障害者総合福祉法の構想</p> <p>03週. 障害者福祉制度の理念(障害の概念とICF)と障害者総合福祉法と実際</p> <p>04週. 障害者総合福祉法における専門職</p> <p>05週. 障害者総合福祉法ネットワークング</p> <p>06週. 相談支援事業所の役割</p> <p>07週. 個人の権利を守る制度の概要(個人情報保護法・成年後見制度等) 他</p> <p>08週. 自立支援制度の仕組み理解と障害者福祉の法制度の概要</p> <p>09週. (法制度) 身体障害者福祉法</p> <p>10週. (法制度) 精神障害者福祉法</p> <p>11週. (法制度) 発達障害支援法</p> <p>12週. (法制度) 障害者基本法</p> <p>13週. (法制度) 医療関連法・障害者移動関係法</p> <p>14週. (法制度) 障害者雇用促進</p> <p>15週. まとめ</p>	<p><b>成績評価の方法</b></p> <p>授業態度、リアクションペーパー(40点)、筆記試験(60点)</p>

<b>高齢者福祉サービス論 (2単位)</b>	<b>三田寺 裕治</b>
<p style="text-align: right;">対象学年：1年</p>	
<p><b>授業のテーマ・目的・到達目標</b></p> <p>高齢者福祉の理念とそのサービスの現状を概観しながら、超高齢社会における福祉の諸問題を検討したい。まず高齢者の心身の特性を把握し、高齢者とその家族についての理解を深める必要がある。同時に高齢者福祉の歴史を学び、現在の介護保険制度および高齢者に関する諸制度の目的・仕組みを理解したい。さらに、独居高齢者、高齢者虐待、介護予防などにわたり、高齢者がどんなことで困っていたり、何を望んでいるかを具体的に取り上げる予定である。支援者を目指して学ぶ者には、高齢者を正しく理解し、その生活課題や支援について絶えず考えていく努力が期待されている。</p> <p>なお、本科目は、社会福祉士の必修科目であると同時に「介護職員初任者研修」資格の取得に必修な130時間のカリキュラムのうち、1科目合計4.5時間分の読替内容を含んでいます。</p>	<p><b>履修上の留意事項・準備学習</b></p> <p>受講期間中は、高齢者の衣・食・住や心身について意識的に考え、さらに可能であれば身近な高齢者の実状を調査していただくことをお勧めします。授業中に教科書の指示する箇所は、次回までに読んできてください。</p> <p><b>教科書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新社会福祉士養成講座 第13巻『高齢者に対する支援と介護保険制度』 社会福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版</li> <li>・「介護職員初任者研修テキスト」(出版：財団法人介護労働安全センター 6,069円)</li> </ul> <p><b>参考図書</b></p> <p>必要に応じて、その都度紹介します。</p>
<p><b>授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>01週. 高齢者福祉サービスとは</li> <li>02週. 高齢者の特性</li> <li>03週. 少子高齢社会と高齢者</li> <li>04週. 高齢者を取り巻く諸問題</li> <li>05週. 高齢者保健福祉制度の歴史的展開</li> <li>06週. 高齢者支援の関係法規</li> <li>07週. 介護保険制度の概要</li> <li>08週. 介護保険制度の仕組み</li> <li>09週. 介護保険制度における居宅サービス</li> <li>10週. 介護保険制度における施設サービス</li> <li>11週. 高齢者を支援する組織と役割</li> <li>12週. 高齢者を支援する専門職の役割と実際</li> <li>13週. 高齢者支援の方法と実際 (1) ケアマネジメントを含む</li> <li>14週. 高齢者支援の方法と実際 (2)</li> <li>15週. まとめ</li> </ol>	<p><b>成績評価の方法</b></p> <p>定期試験 60%、平常点等 40%</p>

介護福祉論 (2単位)	新田 恵美
対象学年：1年	
<p><b>授業のテーマ・目的・到達目標</b></p> <p>わが国は急速な少子高齢社会を迎え、家族形態や生活様式、人々の価値観など変化し、高齢者の生活や意識も変化している。このような社会背景のもと、要介護高齢者も増加し「介護の社会化」をもたらした。介護保険法が2000年に施行されその後の改正で高齢者支援の内容も多様化し、2006年障害者自立支援法も施行された。このような状況において介護は、ICF概念やノーマライゼーションの考え方を重視し、すべての健康レベルにおける高齢者・障害者の自立、生活機能の支援を実践している。</p> <p>その中でも特に対象者の人権や尊厳を守ることが重要視されており、専門職としての倫理性の高次化が求められ、さらに介護予防や認知症ケア・終末期ケアといった新たな課題も生じてきている。社会的に広く期待されている社会福祉・介護福祉分野の基本的知識を学びます。</p> <p>なお、本科目は、社会福祉士の必修科目であると同時に「介護職員初任者研修」資格の取得に必修な130時間のカリキュラムのうち、6科目合計15時間分の読替内容を含んでいる。</p>	<p><b>履修上の留意事項・準備学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重要項目のプリントは配布しますが、原則的には教科書の内容を重視していきます。授業には指定された教科書を必ず持参してください。</li> <li>科目の学習に対する積極的な態度を期待します。</li> </ul> <p><b>教科書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度－高齢者福祉論－ 川廷宗之、他 編 中央法規出版 2,600円</li> <li>「介護職員初任者研修テキスト」(出版：財団法人介護労働安全センター 6,069円)</li> </ul> <p><b>参考図書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> <li>その都度、プリントにして配布します。</li> </ul>
<p><b>授業計画</b></p> <p>01週. I. 介護の概念や対象 ①介護の意義とそれを支える理念</p> <p>02週. ②介護の定義と利用者の理解</p> <p>03週. II. 介護過程と介護予防 ①介護過程の概要と展開技法</p> <p>04週. ②介護予防の重要性</p> <p>05週. III. 人権と尊厳を支える介護 ①人権を尊重する考え方 (ICF・QOL・ノーマライゼーションなど)</p> <p>06週. ②認知症ケアと尊厳の保持 (虐待防止、身体拘束など含む)</p> <p>07週. ③終末期ケアと尊厳の保持 (個人の権利を守るさまざまな制度)</p> <p>08週. IV. 自立に向けた介護 ①自立支援の意義と介護予防</p> <p>09週. ②居宅介護支援における住環境整備</p> <p>10週. ③日常生活動作における自立支援</p> <p>11週. V. 高齢者を支援する専門職の役割と実際 ①介護職の役割と専門性</p> <p>12週. ②多職種との連携と専門職としての職業倫理</p> <p>13週. ③介護における安全確保とリスクマネジメント (事故予防・安全対策、緊急時・感染症対策)</p> <p>14週. ④介護職の安全と心身の健康管理</p> <p>15週. これからの介護福祉の課題とまとめ</p>	<p><b>成績評価の方法</b></p> <p>定期試験 100% (学習態度も加算されます)</p>

### 3. 講師情報

科 目	講師名	当該科目に関連する主な略歴
多様なサービスの理解	井上 友則	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 介護福祉士
介護職の仕事内容や働く現場の理解 認知症を取り巻く状況 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	井上 弥生	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 介護福祉士、認知症ケア専門士、 認知症介護指導者
人権と尊厳を支える介護 自立に向けた介護 介護職の役割、専門性と多職種との連携 介護職の職業倫理 介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	新田 恵美	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 介護福祉士
介護保険制度	三田寺 裕治	淑徳大学短期大学部 健康福祉学科 教授
障害福祉制度及びその他制度	川畑 俊一	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 精神保健福祉士
医療との連携とリハビリテーション	本名 宏企	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 理学療法士
介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション 老化に伴うこころとからだの変化と日常 家族への支援 家族の心理、かかわり支援の理解 介護に関するこころのしくみの基本的理解	深澤 秀一	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 介護福祉士、介護支援専門員
高齢者と健康 障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 介護に関するからだのしくみの基本的理解 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	杉田 美佐子	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 看護師
生活と家事 介護過程の基礎的理解 総合生活支援技術演習 振り返り 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	田中 悠美子	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 介護福祉士 社会福祉士
快適な住環境整備と介護	吉川 みゆき	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員 1級建築士

科 目	講師名	当該科目に関連する主な略歴
整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護【補助】 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護【補助】 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護【補助】	天賀谷 いずみ	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員  介護福祉士
介護の基本的な考え方	磯部 ひかり	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員  介護福祉士
食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護【補助】 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護【補助】 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護【補助】 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護【補助】 介護過程の基礎的理解【補助】 総合生活支援技術演習【補助】	鈴木 千鶴	淑徳大学短期大学部健康福祉学科 兼務教員  介護福祉士

#### 4. 実績情報

過去の研修実施回数	6回
過去の研修延べ参加人数	91名

#### 5. 連絡先等

申し込み・資料請求先	淑徳大学短期大学部 学生支援部 〒174-8631 東京都板橋区前野町6-36-4
苦情対応部署連絡先	【法人】 対応者：七尾 信勝 役職：法人事務局長 連絡先：〒174-8645 東京都板橋区前野町 5-5-2 TEL 03-5392-8888
	【事業所】 対応者：塩野 敬祐 役職：健康福祉学科長 教授 連絡先：〒174-8631 東京都板橋区前野町 6-36-4 TEL 03-3966-7632